

J-クレジット制度  
プロジェクト計画書  
(排出削減プロジェクト用)

---

プロジェクトの名称：

観光施設(おきなわワールド)における照明設備の更新及び  
太陽光発電設備導入プロジェクト

プロジェクト 実施者名	株式会社 南都
----------------	---------

妥当性確認申請日 2014年 12月 5日

プロジェクト登録申請日 2015年 1月 28日

1 プロジェクト実施者の情報

1.1 プロジェクト実施者（複数のプロジェクト実施者がいる場合は代表実施者）

実施者名	カブシカイシャ ナト
	株式会社 南都
住所	〒900-0013 沖縄県那覇市1丁目3番24号

1.2 プロジェクト代表実施者以外のプロジェクト実施者 ※1

実施者名	(フリガナ)
住所	

1.3 J-クレジット保有者 ※1

保有者名	(フリガナ)
住所	

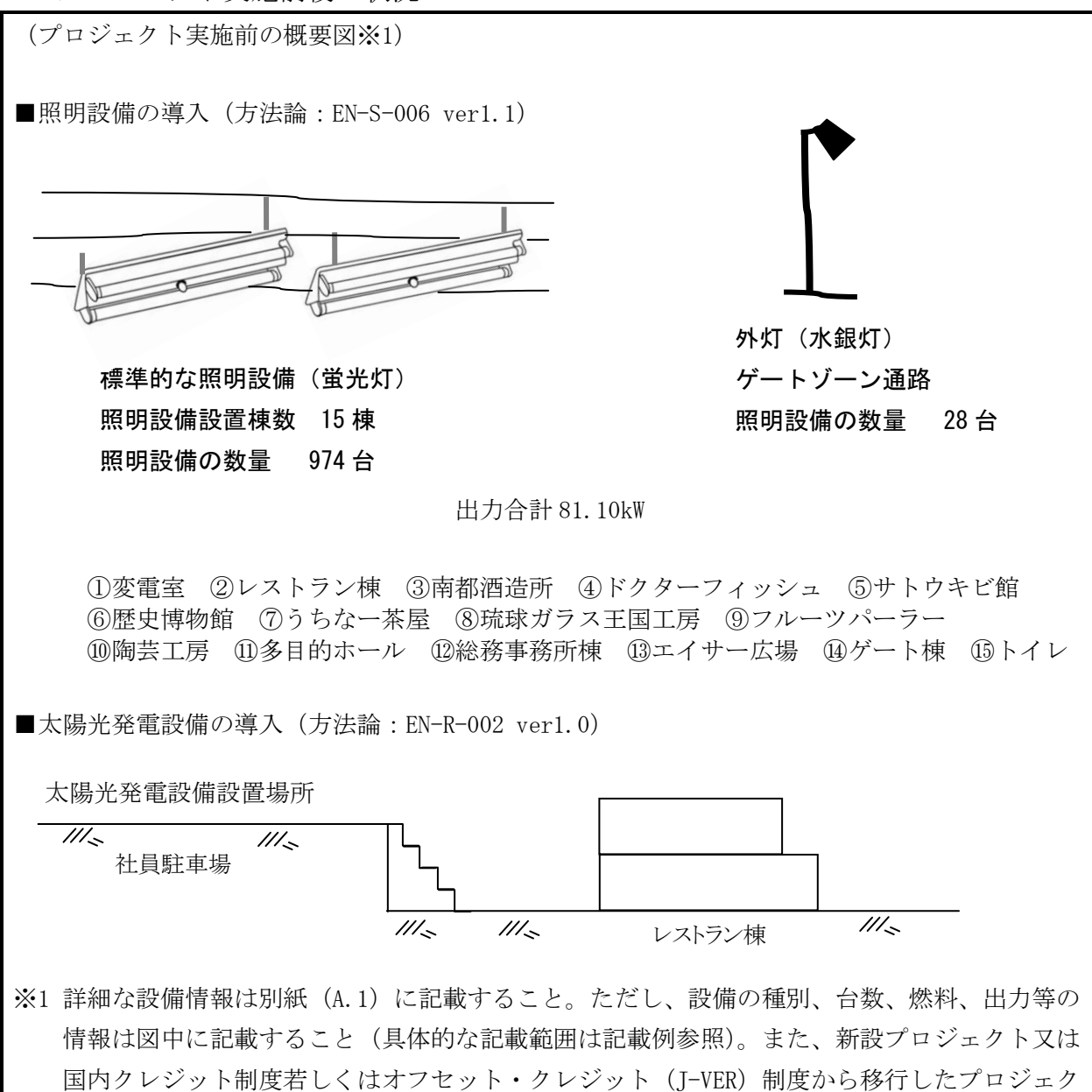
※ 以下、複数のプロジェクトをまとめて申請する場合は、2~4の内容を方法論ごと・実施場所ごとに記載すること。

## 2 プロジェクト概要

### 2.1 プロジェクトの目的及び概要

プロジェクト名	観光施設(おきなわワールド)における照明設備の更新及び太陽光発電設備導入プロジェクト	
目的	観光施設において、従来の照明設備から省電力の照明設備に更新し、太陽光発電設備を導入することにより電力会社からの購入電力量を削減する。	
概要(削減方法)	従来の照明設備に比べ省電力なLED照明設備に更新し、また、太陽光発電設備により系統電力を代替することでCO <sub>2</sub> 排出量の削減を行う。	
プロジェクト実施場所	実施事業所名	おきなわワールド文化王国・玉泉洞
	住所	〒901-0016 沖縄県南城市玉城村字前川 1336

### 2.2 プロジェクト実施前後の状況



トの場合にはベースラインとして設定した標準的な設備の情報を記載すること。

(プロジェクト実施後の概要図 ※2) :

■照明設備の導入 (方法論 : EN-S-006 ver1.1)



高効率な照明設備 (LED)  
照明設備設置棟数 15 棟  
照明設備の数量 974 台

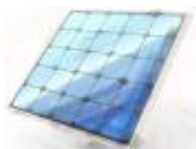


外灯 (LED)  
ゲートゾーン通路  
照明設備の数量 28 台

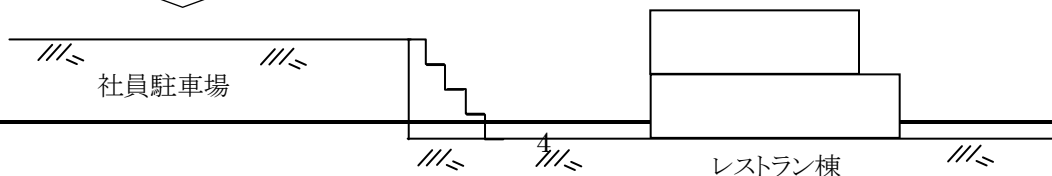
出力合計 27.68kW

- ①変電室 ②レストラン棟 ③南都酒造所 ④ドクターフィッシュ ⑤サトウキビ館  
⑥歴史博物館 ⑦うちなー茶屋 ⑧琉球ガラス王国工房 ⑨フルーツパーラー  
⑩陶芸工房 ⑪多目的ホール ⑫総務事務所棟 ⑬エイサー広場 ⑭ゲート棟 ⑮トイレ

■太陽光発電設備の導入 (方法論 : EN-R-002 ver1.0)



太陽光発電設備  
15kW  
太陽光モジュール  
60 枚



※2 詳細な設備情報は別紙（A.1）に記載すること。ただし、設備の種別、台数、燃料、出力等の情報は図中に記載すること（具体的な記載範囲は記載例参照）。

### 2.3 プロジェクト要件への適合

<p>プロジェクトの実施日 ※1</p>	<p>■2013年4月以降に実施されたプロジェクトである □2012年4月～2013年3月に実施されたプロジェクトであり、国内クレジット制度における事業承認及びオフセット・クレジット（J-VER）制度におけるプロジェクト登録のいずれも受けていない※2 □2008年4月～2013年3月に実施されたプロジェクトであり、国内クレジット制度における事業承認又はオフセット・クレジット（J-VER）制度におけるプロジェクト登録を受けている ※3</p>
<p>追加性</p>	<p>■追加性を有している ※4</p>

※1 「プロジェクトの実施日」とは、設備の稼働日や燃料の切替えを行った日を指す。

※2 2013年度中に限り J-クレジット制度のプロジェクトとして登録申請を行うことができる。

※3 国内クレジット制度又はオフセット・クレジット（J-VER）制度から移行したプロジェクトについては、「2013年4月以降に実施されたもの」という要件を満たしている必要はない。ただし、標準的な設備をベースラインとして設定する必要がある。

※4 追加性評価に関する詳細情報は別紙（A.2）に示すこと。方法論の7. 付記において、追加性の評価が不要とされているもの（ポジティブリスト）については、別紙（A.2）の記入は不要。

### 3 方法論

#### 3.1 適用方法論

適用する方法論	方法論番号	EN-S-006 ver. 1.1
	方法論名称	照明設備の導入
更新／新設 ※1	■更新プロジェクト □新設プロジェクト	
適用する方法論	方法論番号	EN-R-002 ver. 1.0
	方法論名称	太陽光発電設備の導入
更新／新設 ※1	■更新プロジェクト □新設プロジェクト	

※1 ベースラインとして標準的な設備を設定する場合、「新設プロジェクト」となる。

#### 3.2 方法論の適用条件への適合 ※1

■方法論：EN-S-006 ver. 1.1 「照明設備の導入」更新

条件1	■ 適合している	説明： ベースラインの照明設備よりも省電力の照明設備を導入しているため条件1を満たす。また、①更新前の照明設備の情報が取得でき、②更新前の設備の導入日は1996年6月であることから、更新前の設備の使用期間は法定耐用年数の2倍(30年)以内であり、故障による更新ではない。
-----	----------	--

■方法論：EN-R-002 ver. 1.0 「太陽光発電設備の導入」更新

条件1	■ 適合している	説明： 対象事業所において太陽光発電設備が設置されたため
条件2	■ 適合している	説明： 発電した電力を全量自家消費しているため
条件3	■ 適合している	説明： 対象事業所には、太陽光発電設備以外の自家発電設備はなく、太陽光発電設備で発電した電力は系統電力の代替として使用されるため

※1 記載内容に関する根拠資料や関連情報等について、妥当性確認機関からの要求に応じて情報提供を行うこと。

#### 3.3 モニタリング・算定方法

■方法論：EN-S-006 ver. 1.1 「照明設備の導入」更新

ベースライン排出量 ※1				
主要／付随的	排出活動	温室効果ガスの種類	影響度 ※1	モニタリング・算定の実施 ※2
主要	照明設備の使用	CO <sub>2</sub>	—	■排出量の算定を行う

プロジェクト実施後排出量 ※1				
主要／ 付随的	排出活動	温室効果ガス の種類	影響度 ※1	モニタリング・算定の実施 ※2
主要	照明設備の使用	CO <sub>2</sub>	—	■排出量の算定を行う

■方法論：EN-R-002 ver. 1.0 「太陽光発電設備の導入」更新

ベースライン排出量 ※1				
主要／ 付随的	排出活動	温室効果ガス の種類	影響度 ※1	モニタリング・算定の実施 ※2
主要	系統電力等の使用	CO <sub>2</sub>	—	■排出量の算定を行う

プロジェクト実施後排出量 ※1				
主要／ 付随的	排出活動	温室効果ガス の種類	影響度 ※1	モニタリング・算定の実施 ※2
主要	太陽光発電設備 の使用	CO <sub>2</sub>	—	■排出量の算定を行う

※1 各排出活動の排出量算定方法及び影響度の算定方法については別紙（A. 3）に記載すること。

※2 モニタリング方法については別紙（A. 4）に記載すること。

#### 4 排出削減計画

認証予定期間 ※1	2015年3月2日 ～ 2021年3月31日 (6年1ヶ月)			
■方法論：EN-S-006 ver. 1.1 「照明設備の導入」更新				
排出削減計画 ※2	年度	ベースライン排出量	プロジェクト実施後排出量	排出削減量
	2013年度	t-CO2	t-CO2	t-CO2
	2014年度	11.6 t-CO2	4.0 t-CO2	7 t-CO2
	2015年度	141.3 t-CO2	48.2 t-CO2	93 t-CO2
	2016年度	141.3 t-CO2	48.2 t-CO2	93 t-CO2
	2017年度	141.3 t-CO2	48.2 t-CO2	93 t-CO2
	2018年度	141.3 t-CO2	48.2 t-CO2	93 t-CO2
	2019年度	141.3 t-CO2	48.2 t-CO2	93 t-CO2
	2020年度	141.3 t-CO2	48.2 t-CO2	93 t-CO2
	合計	859.4 t-CO2	293.2 t-CO2	565 t-CO2
年度ごとに排出削減量が異なる場合の理由	<input type="checkbox"/> 電力のCO2排出係数の影響による <input checked="" type="checkbox"/> その他の理由（以下に記載すること） 2015年度については全電源排出係数が限界電源排出係数を上回ったため、全電源排出係数を使用しており、他の年度と同じ値となっている。			
認証予定期間 ※1	2015年3月2日 ～ 2021年3月31日 (6年1ヶ月)			
■方法論：EN-R-002 ver. 1.0 「太陽光発電設備の導入」更新				
排出削減計画 ※2	年度	ベースライン排出量	プロジェクト実施後排出量	排出削減量
	2013年度	t-CO2	t-CO2	t-CO2
	2014年度	0.7 t-CO2	0.0 t-CO2	0 t-CO2
	2015年度	8.6 t-CO2	0.0 t-CO2	8 t-CO2
	2016年度	8.6 t-CO2	0.0 t-CO2	8 t-CO2
	2017年度	8.6 t-CO2	0.0 t-CO2	8 t-CO2
	2018年度	8.6 t-CO2	0.0 t-CO2	8 t-CO2
	2019年度	8.6 t-CO2	0.0 t-CO2	8 t-CO2
	2020年度	8.6 t-CO2	0.0 t-CO2	8 t-CO2
	合計	52.3 t-CO2	0.0 t-CO2	48 t-CO2
年度ごとに排出削減量が異なる場合の理由	<input type="checkbox"/> 電力のCO2排出係数の影響による <input checked="" type="checkbox"/> その他の理由（以下に記載すること） 2015年度については全電源排出係数が限界電源排出係数を上回ったため、全電源排出係数を使用しており、他の年度と同じ値となっている。			



■ 合計				
排出削減計画 ※2	年度	ベースライン排出量	プロジェクト実施後 排出量	排出削減量
	2013 年度	t-CO2	t-CO2	t-CO2
	2014 年度	12.3 t-CO2	4.0 t-CO2	7 t-CO2
	2015 年度	149.9 t-CO2	48.2 t-CO2	101 t-CO2
	2016 年度	149.9 t-CO2	48.2 t-CO2	101 t-CO2
	2017 年度	149.9 t-CO2	48.2 t-CO2	101 t-CO2
	2018 年度	149.9 t-CO2	48.2 t-CO2	101 t-CO2
	2019 年度	149.9 t-CO2	48.2 t-CO2	101 t-CO2
	2020 年度	149.9 t-CO2	48.2 t-CO2	101 t-CO2
	合計	911.7 t-CO2	293.2 t-CO2	613 t-CO2
年度ごとに排出削減量 が異なる場合の理由	<input type="checkbox"/> 電力の CO2 排出係数の影響による <input type="checkbox"/> その他の理由（以下に記載すること）			

※1 認証予定期間は、プロジェクト登録の申請予定日若しくはモニタリングが可能となる予定日のい  
 ずれか遅い日から 2021 年 3 月 31 日までの間で設定すること。

※2 排出削減量の算定方法については、別紙 A.3 に記載すること。

## 5 データ管理

データの品質を確保するための仕組みとして、データ収集・集計等体制の整備と個別データの信頼性の向上について以下に記載する。詳細については、J-クレジット制度実施規程（プロジェクト実施者向け）「2.4」を参照のこと。

### 5.1 モニタリング体制

データ管理責任者 ※1	総務部施設管理課 課長
モニタリング担当者 ※1	総務部施設管理課 電気担当

※1 担当者の組織、役職名を記載すること（個人名は不要）。原則として、それぞれ別の担当者をおくこと。

### 5.2 モニタリングデータの収集・記録・保管

モニタリングデータの収集・記録・保管の手続 ※1	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の稼働日及び稼働時間を日報より記録、管理する。</li><li>・プロジェクト実施前後の照明設備の仕様書等を保管する。</li><li>・太陽光発電量の計測値月次データを集計表に記録・保管する。</li></ul>
データ保存期間 ※2	認証対象期間終了後 <u> 2 </u> 年間

※1 認証対象期間において複数の担当者がモニタリングを行う場合には、全ての担当者が適切にモニタリングデータの収集・記録・管理を行うための仕組みも併せて記載すること。

※2 原則認証対象期間終了後2年間とする。

## 6 特記事項

### 6.1 排出量の削減に影響を与える可能性のあるリスクの特定について ※1

排出量の削減に影響を与える可能性のあるリスクがあるか <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
--

※1 プロジェクト排出量が増加し、ベースライン排出量を上回る可能性のあるリスクも含む。リスクの例は、記載例を参照

(「有」にチェックした場合に記入)

項目	概要
リスク要因	天候の変化による日照量の変動や発電パネルの故障、営業時間の変更など

### 6.2 ダブルカウントの防止措置について

類似制度へプロジェクトを登録しているか。 <input type="checkbox"/> 登録している (類似制度名 : _____ 類似制度での認証予定期間 : _____ ) <input checked="" type="checkbox"/> 登録していない
--

### 6.3 法令等の義務の有無について

プロジェクトの実施は、法令等の義務履行によるものではないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 法令等の義務履行によるものではない。 <input type="checkbox"/> 法令等の義務履行によるものである。
--